

小松市立宮本三郎ふるさと館 企画展

あなたは どうみる？

～不思議な絵の魅力～



うずまきがいっぱい...!?

2022 7/2(土)→9/25(日)

入館無料



小松市立

宮本三郎ふるさと館

〒923-0982 石川県小松市松崎町 16-1/ 電話：0761-43-3032
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日：月曜日(7/18、9/19は除く)、7/19、8/12、9/20

コロナウイルス感染
拡大防止にご協力
をお願いします。

企画展 あなたはどうみる？

～不思議な絵の魅力～

2022 7/2(土)→9/25(日)

花？
それとも!?

よくみると、謎が深まる、不思議な絵があります。
 私たちは絵画鑑賞するとき、いつもどのように見るでしょう？
 まずは、描かれているものをよく見てみると、「なにが描かれているのか？」「なぜ描いたのか？」「作者はどのような想いや心情を持っていたのだろうか。」などと思うのではないのでしょうか。
 そして、絵画を見た私達は、次に「どんな印象をもつだろうか？」「どんな感情がでてくるだろうか？」「何を考えるだろうか？」「例えば小説・音楽などの一説が思い浮かぶだろうか？」「思い出の景色や情景が浮かんだらどうか？」「表現されて見えている目の前の絵画の中に、見えていない何かがあるのだろうか？」などと、目の前の絵画により様々な感情をわき起こされ、考えを巡らせるのではないのでしょうか。
 私たちが絵画を鑑賞する時、その作品を理解し近づこうとしますね。
 本展では、よく見ると奥深い意味が隠されている作品を見方のヒントをちりばめながら紹介します。



2

表：宮本三郎／《流水（犀川）》1959年
 1：吉成文男／《パラダイス21A》2021年
 2：西沢明子／《サークルフラワー-8》2020年
 3：宮本三郎／《動物》1958年



何の動物!?
別の生物も!?

何のかたち!?

1



3

同時開催 宮本三郎美術館企画展 2022 7.2 土 - 9.25 日

みやもとさぶろう せんせい

宮本三郎先生の

やさしい

絵画教室

かいかぎょうしつ

油絵って どうやってかけばいいの？
意外と楽しそう?!

絵の描き方の本『少年の画室』をテーマに、
宮本先生の教えにならって、
油絵の描き方を学ぼうという展覧会です。

宮本三郎
『少年の画室』
東峰書院、
1958年5月8日発行

開館時間：9:00-17:00 (入館は16:30まで)
 休館日：月曜日(7/18, 9/19は除く)、
 7/19, 8/12, 9/20
 入館料：一般300円(20名以上の団体は250円)
 ※高校生以下無料 ※こまつミュージアム・バス対応
 ※障がい者手帳等お持ちの方、
 および「ミライロID」アプリ提示者と介助者1名は無料

小松市立 **宮本三郎美術館**

〒923-0904 石川県小松市小馬出町5
 TEL:0761-20-3600



小松市立 **宮本三郎ふるさと館**

〒923-0982 石川県小松市松崎町 16-1 / 電話：0761-43-3032

【次回企画展のご案内】
 会期：令和4年10月8日(土)～11月27日(日)
 ・小松市立宮本三郎美術館
 「ラクガキ大決戦第2弾！チーム宮本 VS 小松の親子」
 ・小松市立宮本三郎ふるさと館
 「足跡をたどる ～画家・宮本三郎の生涯～」